

みんなで調べる！みんなで伝える！

市民科学の最前線

Front line
Of citizen
Science

滋賀県立
琵琶湖博物館

LAKE BIWA MUSEUM

お申し込みはこちら



上記のQRコード、もしくは琵琶湖博物館ホームページより詳細を確認の上、しがネット受付サービスから必要事項をお送りください。

身近な環境や文化のことを自分たちで調べて伝える様々な方法を、事例を通してご紹介します。近年は、SNSを使う、水からDNAを調べるなど、多様な方法が用いられています。また、いち参加者として調査に参加したり、調査そのものを企画したり、調査をきっかけに活動が広がったりと参加のあり方も様々です。フィールドレポーターや「はしかけ」など、琵琶湖博物館の取組みも紹介します。ぜひ皆さんも、市民科学の活動にご参加ください。

2025/1/25(土)13:30~15:30 ①

環境DNAで!ガサガサで! みんなで魚を調べる

“はしかけ”うおの会の活動の博物館における意義
川瀬成吾(琵琶湖博物館)

みんなで楽しく“魚つかみ”を続けてみたら、
こんなことが分かった!

中尾博行氏(琵琶湖博物館“はしかけ”うおの会)

みんなで調べる琵琶湖の魚

-新たな調査手法としての環境DNA分析
山中裕樹氏(龍谷大学 先端理工学部)



2025/2/22(土)13:30~15:30 ②

地元の価値を再発見!

観察会や質問から生まれる自然史情報の新発見
金尾滋史(琵琶湖博物館)

記憶で地域がよみがえる

-ふるさと絵屏風によるまちづくり

上田洋平氏(滋賀県立大学 地域共生センター)



2025/3/29(土)13:30~15:30 ③

SNSで!調査票で!

みんなで調べる いろいろな方法

ナレズシ調査にみる調査票調査の醍醐味と課題
橋本道範(琵琶湖博物館)

スーパーに行ってみるだけの
簡単な調査の面白さと難しさ

石田惣氏(大阪市立自然史博物館)



Illustrations are generated by Midjourney.

要事前申込 / 無料

別途、展示を観覧される場合は
観覧料が必要です。

会場: 琵琶湖博物館 ホール

対面開催

令和6年度

新琵琶湖学セミナー